

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 2 月 21 日
東京電力株式会社

< 1 . 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (2/21 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m ³ /h	14.6	106.0 kPa abs	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 0.0 m ³ /h	24.0	3.36 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約 4.5 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	22.1	0.22 kPa g	A系： 0.08 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

* : 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2 . 使用済燃料プールの状況 > (2/21 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	10.5
2号機	循環冷却システム	運転中	9.7
3号機	循環冷却システム	運転中	7.9
4号機	循環冷却システム	運転中	13.1

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。

・H26/2/24～ 3号機使用済燃料プール循環冷却設備二次系冷却塔は、ろ過水による散水とファンによる送風で冷却を実施しているが、冬季の凍結防止対策として、ろ過水による散水を停止し、冷却塔のファンのみで冷却する対策の検討のため、散布水を停止した際の影響調査を実施予定(使用済燃料プールの冷却は継続)。なお、当該の散布水停止期間の約 10 日が経過した時点で、改めて評価を行い、温度上昇率が想定内であり安定していると判断された場合、更に 10 日間程度、散布水の停止を実施予定。

また、使用済燃料プール循環冷却設備による冷却が全て停止したと保守的に仮定した場合でも、当該期間において、実施計画で定めている 65℃以下を満足することを確認している。

・H26/2/24～28 6号機補機冷却海水系について、タービン補機冷却水系熱交換機(C)海水出入口弁他の点検を行うため、全台停止予定。当該期間においては、使用済燃料プール冷却系が使用できなくなるが、残留熱除去系による非常時熱負荷運転(使用済燃料プール冷却)を行い、使用済燃料プール冷却を実施予定。なお、2/21 15:00 現在の使用済燃料プール水温度は 16.8℃で、冷却停止時における使用済燃料プール水の温度上昇率評価値は 0.4℃/h。

< 3 . タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	1/24 14:37 ~ 移送実施中

< 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (2/21 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転状況	停止中	運転中 ^{*1}	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器 (H I C) 交換等を適宜実施。

< 5 . その他 >

- ・H26/1/29～ 凍結管を設置するための削孔については、堀りあがった温度測定用の孔にカメラを挿入して、トレンチ内部状況を再度、慎重に確認したうえで削孔開始することとしていたが、トレンチ内部の状況が確認できたことから、凍結管を設置するための削孔を実施中。

【H4 エリアタンク等からの水の漏えい関連】

< トピックス >

- ・H25/12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4 エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

< タンクエリアパトロール実績 (2/20) >

- ・高線量当量率箇所 (+ 線 (70 μ m 線量当量率)) は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと (漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く) を確認。
- ・汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

< H4 エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査 / 対策工事の実施状況】

< トピックス >

- ・1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は 2/21 0:00 時点で約 8,146m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

< 地下水観測孔サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 移送関係 >

- ・2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。
- ・H25/12/11～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.0-3-2 でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。
- ・H26/1/29～ 1, 2号機間護岸エリア地下水観測孔 No.1-16 で高い濃度の全ベータが検出されていることから、当該観測孔近傍に設置した地下水汲み上げ用の孔 (No.1-16(P)) からの地下水の汲み上げを適宜実施中。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

< トピックス >

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- ・H26/1/30～ 地下貯水槽 No.1～3 における貯水槽内部の残水について、H1 東エリアタンクへの移送を適宜実施。

< 地下貯水槽サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。